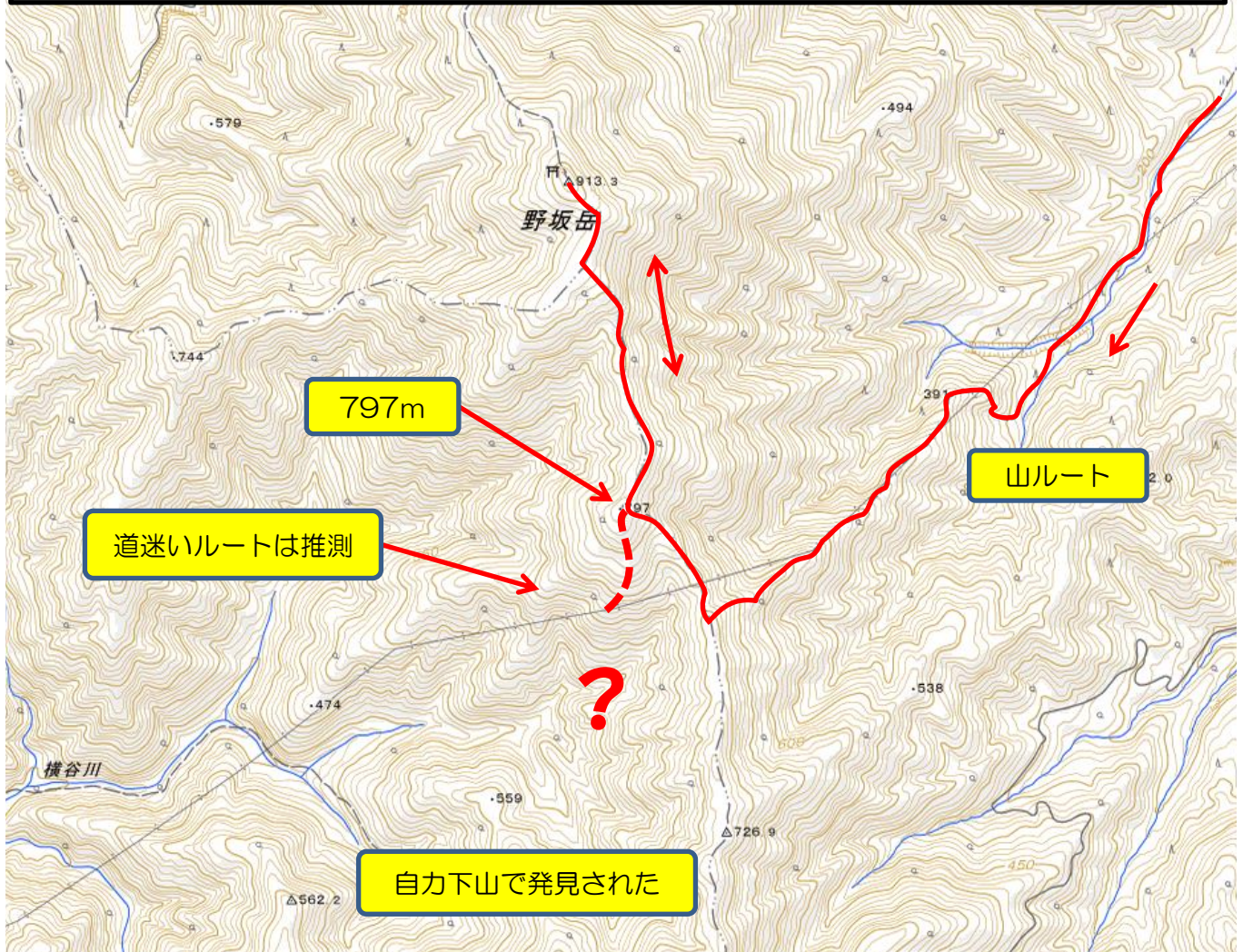


## 野坂岳遭難(2020年6月)

野坂岳からの下山で道迷い(推測)。捜索に向かう途中、遭難者が目的地と違うところに無事下山し、事なきを得た。



## 解説

道迷いは下山で起きることが多い。797mピークから南東の尾根に90度曲がらなくてはならないが、道が不鮮明だったり、90度曲がる意識がないと直進して道に迷ってしまう。

一旦、下山を始めると「あれっ?」と思っても、どんどん進んでしまう。なぜならば、「あと少し進むと、はっきりとした道が出てくるかもしれない?」とか「がんばれば、なんとかなる」といった自分を励ます感情が芽生えてくる。これが道迷いの心理である。

しかし、この心理状態の中には、**一切の地図理論は存在しない**。自分の願望のみが存在する。地図を見るの場合に、**一番必要なものは「体力」、次に「冷静さ」、最後に「読図技術」**だと思っている。自分を自分で励ましているときほど冷静さを取り戻して対処してほしい。